



CHANGE

——事業のあり方を、今一度、世の中に問う。——

MAKER



奈良デザイン経営共創プログラム

経営の本質に向き合う挑戦

「このまま続けて、未来はあるか？」

奈良デザイン経営共創プログラム CHANGE MAKERは、
経営者が直面する問いに、真正面から向き合う実践プログラムです。



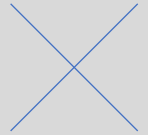
これまでに築いてきた技術や信頼を土台に、自社の“らしさ”を再定義し、
見た目や表層のデザインにとどまらず、
事業・組織・関係性そのものを再設計する視点を持って、
時代に選ばれる存在へと変革する力を養います。

次の10年を、自分たちの言葉と意思で再設計する。
そんな意思をもつ中小企業と、
その変革を伴走するデザイナー、中小企業診断士、副業・兼業人材などの
支援者がチームを組み、“らしさ”をデザインし、
仲間を巻き込みながら、
強みを価値へと再構築するプロセスを共創していく——
これは、「デザイン経営」の考え方に基づく挑戦です。

会社の、事業の、組織のあり方を、今一度問い直す。
そして、“らしさ”に根ざした未来を、設計し、実装する。
そのはじまりを一緒に踏み出す、中小企業と支援者を募集します。

CHANGE MAKERとは

事業者



支援者



ともにより良い事業を生み出す
ともにより良い組織を生み出す

中小企業と支援者が「デザイン経営」を共通言語に、
互いに学び合い、高め合いながら価値を共創する
事業と組織の変革を目指す共創型プログラム

参加対象者

【県内中小企業の皆様（奈良市内の企業優先）】 募集枠：5社

- デザイン経営の考え方に共感し、自社らしさやミッション・ビジョン・バリューといった**経営の根幹から、経営をデザインしたい**と考えている企業
 - プログラム期間中だけでなく、**その後も継続的に**、自社らしさ・事業・組織の変革に取り組み続ける意思のある企業
 - 自社が変わることで、**奈良の他の経営者や支援者の意識と行動に変化を促す**など、地域の変革の起点となることに意欲のある企業
 - 全6回のワークショップに継続して参加し、**自社の変革にコミット**できること
- * 経営者（経営層）と従業員による2～3名程度のチームでの参加を推奨します

選考について

応募多数の場合は、応募内容をもとに以下の観点から選考を行います。

1. **課題認識**：解決したい経営課題が明確で、本プログラムの趣旨（自社らしさを起点とした事業と組織の変革）に合致しているか
2. **実践体制**：経営者と従業員がチームとなって参加し、プログラム後も継続的に変革に取り組む体制・意思があるか
3. **波及効果**：取り組みとその成果を地域に発信し、奈良市のデザイン経営を牽引するモデルケースとなる意欲があるか

参加対象者

【支援者の皆様】 募集：10名程度

- デザイナー、中小企業診断士、士業、副業・兼業人材など、**中小企業の変革に伴走したい方**
- 全6回のワークショップに継続して参加し、参加企業との共創にコミットできる方
- 分析や助言にとどまらず、企業の「らしさ」に寄り添いながら、**共に考え、共に手を動かす支援**に挑戦したい方

選考について

応募多数の場合は、応募内容をもとに以下の観点から選考を行います。

1. **共創のスタンス**：解決策を提供するのではなく、企業と共に考え、共に手を動かす支援に取り組む意欲があるか
2. **専門性と実践力**：ご自身の専門性を、中小企業の文脈に合わせて実践的に活かせるか
3. **継続的な関わり**：全日程への参加に加え、プログラム終了後も奈良の中小企業支援に継続的に関わる意欲があるか

CHANGE MAKER プログラム全体像

ワークショップ

共創型ワークショップ（全6回・対面） | 会場：奈良商工会議所 中ホール | 時間：各回13:30～17:00 | 参加費：無料

第1回 | 2026年10月 2日（金） デザイン経営の基礎とチームビルディング

第2回 | 2026年10月15日（木） 自社らしさ＝知的資産の洗い出しと意味化

第3回 | 2026年10月29日（木） 変革の軸となる自社らしさのデザイン

第4回 | 2026年11月12日（木） 変革ビジョンの策定と課題整理

第5回 | 2026年11月24日（火） 変革ビジョン実現に向けたプロトタイピング

第6回 | 2026年12月 8日（火） 今後の実践に向けたアクション整理

面談

フォローアップ | 2027年2月頃・1社1時間程度

成果発表会に向けて各社と個別面談を実施。取り組み状況と課題をヒアリングし、実践に向けた具体的なアドバイスを行います。

発表

成果発表会 | 2027年3月1日(月)

参加企業全社にご登壇いただき、取り組みの内容と成果を発表いただきます。

参加することで得られる価値

参加企業が得られる価値

- 1. 自社の「らしさ」の言語化と再発見**
暗黙知として埋もれていた自社の強み・文化・価値観が可視化され、経営判断やブランドづくりの軸になります。
- 2. 中長期視点でのビジョン設計**
日々の業務から一步引いて、10年後の事業と組織のあり方を構想する機会が得られます。
- 3. 経営者と従業員の対話**
ワークショップという場を通じて、普段の業務では生まれにくい、会社の未来についての本音の対話が社内に生まれ、変革を後押し
- 4. 異分野人材との共創**
デザイナーや士業、副業人材の視点が流れ込み、自社だけでは気づけなかった可能性が広がります。
- 5. 地域のネットワーク** — 同じ課題意識を持つ参加企業・支援者との出会いが、プログラム終了後の協業や学び合い（奈良デザイン経営研究会等）につながります。

参加することで得られる価値

支援者が得られる価値

1. リアルな経営課題と向き合う実践機会

形式的なコンサルティングでは得られない、伴走型支援の実践知が得られます。

2. 異なる専門性との連携

デザイナー×診断士、ビジネス人材×地域企業など、分野を越えた協働の経験が積みめます。

3. 新しい支援のかたちの体得

「解決策を渡す」のではなく「問いを立て、共に考える」支援を、現場で体得できます。

第1期の実施レポート

第1期の取り組みをまとめたガイドブックを作成し、奈良商工会議所WEBサイトより公開しています。
今後デザイン経営を取り入れたい方、ご興味のある方はぜひご覧ください。
参照URL：<https://www.nara-cci.or.jp/856/>

奈良デザイン経営
共創プログラム
ガイドブック

CHANGE
—事業のあり方を、今一度、世の中に問う。—
MAKER

経営の本質に向き合う挑戦

主催

奈良商工会議所
Nara Chamber of Commerce and Industry

共催

奈良市

企画・運営

TOMOSU

mitomo

発行：2026年3月

本事業は、近畿経済産業局の中小企業等向けの財産支援地域連携促進事業費補助金を活用して運営しました

02 デザイン経営とは何か

見た目のデザインではない
経営そのもののデザイン

デザイン経営とは？

デザイン経営における価値の循環

デザイン経営がもたらす効果

03 CHANGE MAKERにおける再動とは

事業者・支援者の「コアチーム」で動く企業変革

コアチームにおけるそれぞれの役割

なぜ、外資人材との共創が求められるのか？

04 CHANGE MAKERの全貌

全7ヶ月のプログラム構成

CHANGE MAKER プログラムは、2つのステップで構成されています。

事業者と支援者が共創するプログラム全貌

05 CHANGE MAKERの手法

ワークショップで使ったフレームワークとツールの一部をご紹介します

1 自分らしさを振り返る「問い」カード

2 デザイン経営コンパス

3 デザイン経営の未来を創る力

4 CHANGE MAKERを通して得られたこと



応募フォーム

第2期応募ページおよび応募フォームはこちらから
(応募締め切り 9月14日まで)



<https://www.city.nara.lg.jp/site/jigyosyashien/272626.html>